

みんなで食べるから、おいしい！

西条の こども食堂

旧西条の市街地、
神拝校区の一軒家で、
毎月1回、「こども食堂」が
開かれています。
しゃべる、笑う、聞いている。食卓を囲み、
おだやかな時間が流れる居場所の話です。



正午の開店を前に、台所はフル回転。普段は高齢者の施設で調理師として働き、6月からこども食堂の開催日に手伝っている宇佐美真穂さんは、「施設では献立が決まっています、材料も揃っているところできっちりと仕上げるのが仕事ですが、ここでは臨機応変に調理するのが楽しい。子どもたちがおいしかったとお礼を言ってくれるのがうれしいです」

▲高校生以下は無料。ひとりでも、親子でも、友達どうしでもどうぞ。



こども食堂の会場は川治町集会所近くの「さんは一と西条」。新居浜医療福祉生協・西条支部が空き家を活用し、地域での行事を主催したり貸し出したりしている。「近所のおばちゃんちに遊びに行く感じで気軽に来てもらえれば」と大道さん。

「始まりは、読み聞かせ」

午前10時、懐かしい雰囲気の軒家。6畳ほどの台所では、4人のスタッフが手際よく料理の下ごしらえを進めていた。

「胡瓜の酢の物、ちよと味見してみ。子どもだから、お酢はちよと控えめにしてみよう」

毎月1回、主に土曜のお昼に開かれる「こども食堂」を主催するのは、読書会や工作教室、「青バト隊」など地域で様々な活動を実施しているNPO法人Kodomo Saijoだ。

「もともとは我が子の子育て中に小学校の読み聞かせで一緒だった仲間とともに活動を始め、2015年に現在のNPOを設立しました」と話すのは代表の大道世紀江さん。昨年12月からは西条公民館で月3回程度、小学生向けの「放課後交流サロン」を実施。そして、今年3月、空き家を活用した地域の集いの場「さんは一と西条」で念願のこども食堂をスタートさせた。

「最初は5人のお客さん」

「他市では、放課後児童クラブと体的に運営されていたり、夕食の時間帯に開いて、保護者も仕事帰りにお迎えついでに食べに寄ったりという例もありますが、私たちは週末に親が仕事などで留守にするため、昼ごはんをひとりでお昼に子どもたちを対象に、土曜のお昼に設定しました」

初回は市教委の後援を得て神拝小学校でチラシを配布してもらい、30人分の料理を用意した。

「でも、来てくれたのは5人。しかも、友達どうしでした」

料理が余っては大変と、近所の河川敷で練習していた野球チームの子どもたちや保護者に声をかけ、食べに来てもらった。

その後も毎月1回のペースで開催。リピーターに友達どうしの口コミもあり、参加者は毎回2〜3人ずつ増えて、前回の6月は10人を超えた。

「フードバンクとの連携」

11時前、主なた調理が一段落した頃、1台の車が到着した。

「今日は何作ってるの？ こっちはキノコにカット野菜、冷凍ピザやスパゲティ、野菜ジュースも持ってきたよ」

様々な食品が盛り込まれた段ボール箱を台所に運び込んだのは、「えひめフードバンク愛媛」の難波江任さん。主に県内で若者や障がい者の就労や社会参加を支援するNPO法人「eワーク愛媛」の理事長を務め、その事業の一つとして、同フードバンクを運営している。

「特に、保存の利かない食品をその日に使ってもらえるこども食堂の取り組みは、フードバンクの心強い味方です」

非営利のこども食堂にとって無償の食材はありがたい存在。大道さんらが食堂開設に踏み切ったのも、既に今治・新居浜・四国中央のこども食堂に食材提供していた同フードバンクからの声かけが決め手だった。

「フードバンクとの連携は単に経費の問題だけではなく、食材が活かすことで、食品ロスの問題を子どもや親たちが身近に感じ、食への関心を深めてもらいたい」と大道さんは話す。

提供される食材にはいわゆる日配品（乳製品・豆腐・納豆・練り物等）を中心にそのまま食べられるものも多いが、必ずスタッフがひと手間加えて食卓に出すよう心がけている。

「私たちが始めたのを見て、じゃあ自分も動き出した人たちもいて、うれしいことです。西条でもっともこども食堂が増えてほしいと思います」

このまちのあちこちに、様々なこども食堂が暖簾を掲げる。そんな日は近いかもしれない。

追加の食材を届けてくれた「えひめフードバンク愛媛」の難波江任さん。「国内の食品ロスは年間600万ト以上と言われますから、もっともっと使ってほしいです」。こども食堂向けの食材は主に、中四国で80店舗、愛媛県内では東予地方で7店舗を展開するスーパー「ハローズ」から。賞味期限前の日配品や青果類を開催当日に近隣の店舗で譲り受ける。

旬の食材を手際よく調理。メインの献立用には、米・野菜・魚介・肉類など生の素材を中心にそろえ、その場で一からスタッフの手づくりで料理する。



通常は午前中にスタッフが調理し、お昼になると子どもたちがやってくるという流れだが、7月は特別日程で同じ建物で行われていた3日間の「宿題合宿」に参加中の小学生らも調理に加わった。



●次回のこども食堂は9月開催
8月はお休み、次回は9月29日(土)の予定。
日時などの問い合わせは、
NPO法人Kodomo Saijoへ。
電話080-2989-2424(大道さん)
<http://kodomosaijo.com/>
facebookもあり。